

環境大臣賞を受賞した冷凍設備の消費電力を最大8割削減する秘策

# 自動化、省電力をこれ1台で

## フロン漏えい検知システム ナンバのフロンキーパー

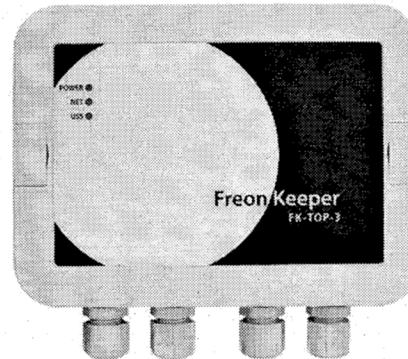
ナンバ（社長＝難波俊輔氏、本社・新潟県長岡市）は6月4日から7日の4日間、東京ビッグサイト（東1～8ホール）で催される「FOOMA JAPAN 2024」に出展し、業務用・産業用冷凍機器の冷媒ガス漏えいを早期発見でき、IoT化も実現する独自開発の「フロン漏えい検知システム『フロンキーパー』」、ネット接続不要で、社内ネットワークにて一元管理が可能なオプション品「フロンキーパー セキュア」既存の冷凍機に取付けるだけで20部以上の省エネを実現する「省エネコントローラ『KE2』（ケーラー）」などを来場者にアピールするほか、開催3日目の6月12時40分からは東1ホール入口セミナー会場にて「環境大臣賞を受賞した冷凍設備の消費電力を最大8割削減する秘策」と題したプレゼンテーションセミナーも実施する「ベース番号＝東2G-40」

えいは一度に大量に起ることとは稀で、僅かな量が継続的に漏れていいくこと（通称「スローリーク」）が多い。そのため人間が計器類を監視していく中分からず、多くの「フロン漏えい検知システム『フロンキーパー』」は、冷凍機について、外気温度、液フロン温度、電力量、冷媒圧力・温度等の様々なデータを常時24時間（冷凍機運転時）収集・測定・監視し、漏えいを判断できるもの。

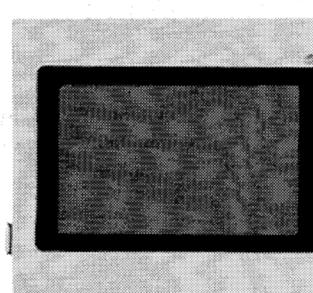


難波 俊輔社長

最大の特長は「人間にはキャッチできない」「僅かな冷媒漏えい」を機械技術で「確実に判定」で用される直感式のプレハブ冷凍冷蔵庫等の冷媒漏えいを判断できるもの。



「フロンキーパー」  
能力の低下は電力消費の増大にも繋がる。冷凍機の冷媒フロンが適正量



「フロンキーパー」  
漏えいによる冷凍機の冷媒フロン

「フロンキーパーセキュア」

ナンバ（社長＝難波俊輔氏、本社・新潟県長岡市）は6月4日から7日の4日間、東京ビッグサイト（東1～8ホール）で催される「FOOMA JAPAN 2024」に出展し、業務用・産業用冷凍機器の冷媒ガス漏えいを早期発見でき、IoT化も実現する独自開発の「フロン漏えい検知システム『フロンキーパー』」、ネット接続不要で、社内ネットワークにて一元管理が可能なオプション品「フロンキーパー セキュア」既存の冷凍機に取付けるだけで20部以上の省エネを実現する「省エネコントローラ『KE2』（ケーラー）」などを来場者にアピールするほか、開催3日目の6月12時40分からは東1ホール入口セミナー会場にて「環境大臣賞を受賞した冷凍設備の消費電力を最大8割削減する秘策」と題したプレゼンテーションセミナーも実施する「ベース番号＝東2G-40」

QRコード  
「フロンキーパー」の紹介動画のリンク

「フロンキーパー」の販売実績あり

「フロンキーパー」は、収集したデータを監視記録簿としても活用できること

としている。

「フロンキーパー」は、収集

したデータを監視記録簿

としても活用できること

としている。

</div